

つばめ通信

『山中湖中学校だより』 平成27年度
平成27年12月16日発行 第16号

今年の日めくりも、残すところほんの数枚。年賀状の受付もすでに始まり、いよいよ年の瀬を実感です。

物の本によれば、年の瀬の「瀬」は「あさせ」「はやせ」という意味の漢字だそうです。元々の表記では「瀬」で、「川」と「切れ目が入る」という漢字の組み合わせ。イメージとしては、それまでの深くゆったりとした流れが一転して、溪流のゴツゴツした石の間を流れる急流といった感じで、「浅いながらも流れがとても速いところ」ということになります。

言うまでもなく、年の瀬は一年の中で一番忙しい時期。一見、残り数日の浅瀬なので、簡単に歩いて渡れそうな気がしますが、流れが速いだけに、足をすくわれないう命がけで渡らなければならないのかもしれない。

学校の内に外に、本当にいろいろとあった2015年でしたが、この瀬を何とか渡りきってこそ、浮かぶ瀬もあるのかという気がします。一年の垢を翌年まで持ち越さず、心機一転、謙虚な気持ちで新しい年を迎えたいと思います。

皆さま、どうぞ良いお年をお迎え下さい！

税金弁論大会…3位入賞！ 3年：榎屋秀弥くん

去る11月5日(木)、都留二中を会場に「第30回中学生による税金弁論大会」が開催され、本校の代表として3年の榎屋秀弥くんが出場しました。榎屋くんは「税金について改めて思うこと」と題して、自学で積み重ねた学習の成果をもとに、消費税の問題や課題を中心に税の役割について、堂々と意見を発表しました。

その結果、13人の弁士の中で、見事第3位という素晴らしい成績を修め、表彰されました。「広報12月号」に論旨が掲載されていますので、ご覧下さい。



山中湖村3校 小中連携学力向上研修会 開催



平成22年度から本格的に取り組みを開始した山中湖村3校による「小中連携教育」の一環として、本年度は「学習規律」や「家庭

学習」にスポットを当てながら、3校の教職員が山中湖中に会して研究会を開催しました。

研究会に先立って、来年度以降計画している、村を挙げての英語特区に絡め、2年A組での英語の授業を小学校の先生方に参観していただきました。

研究会では、各学校での学習規律や授業規律、家庭学習への取り組みの様子も報告され、3学期以降次年度に向けて、それぞれの学校で大変参考になる情報交換が行われました。

学力の向上については、全国学力学習状況調査などの結果から、山梨県全体としての大きな課題になっているところですが、本村で実施しているこうした3校足並みを揃えての取り組みが、各学校の教職員一人一人の力量の向上と児童生徒一人一人の学習に向けた意識改善につながっていくものと信じているところです。

保護者の皆様にも、ご理解をいただければと思います。

ゲストティーチャー(1) 坪井美香さんによる朗読会

女優：坪井美香さんをお迎えしての朗読会も5年目を迎えました。毎回、今子どもたちが向き合わなければならない大切な内容の本を吟味して朗読していただきます。今回も、読書の奥深さを実感させられる朗読会でした。



ゲストティーチャー(2) 櫻井公子さんによる書道教室

冬休み明けの書き初め大会に向けて、1年生から3年生までの全学級の書写の授業(全12時間)で、本村にお住まいの櫻井公子さんよりご指導いただきました。

特に1年生にとっては、初めての行書の学習になります。書道の専門家からのポイントを押さえた指導は、貴重な学習機会になったに違いありません。ありがとうございました。



〈有意義な冬休みを〉

12月25日から1月14日までの21日間の冬休みに入ります。この冬休みは、年末年始という特別な時期を含む休みになります。1年間の節目を意識し、心機一転新たなスタートに向けての気構えを作り出せるよう、ご家庭でのご指導をよろしく願います。

⚠️ 特にお願したいこと ⚠️



● まずは健康・安全

- ・早寝早起きなどの規則的な生活
- ・交通安全(特に自転車の乗り方に注意を)
- ・虫歯など…早めの治療(特に3年生はこの時期に)
- ・湖での危険な遊びをしない

● 誘惑に負けない強い意志

- ・飲酒や喫煙などの触法行為が絶対ないように
- ・子どもだけでの夜間の外出はしない
- ・LINEなどを使っての顔の見えない交流には要注意
- ・ゲームセンターやカラオケボックスは大人と一緒に

● 勉強に冬休みはない

- ・たとえ10分でも20分でも、毎日机に向かう(決していっぺんに無理せず地道に)
- ・不得意教科はこの休み中特に集中的に
- ・学校からの課題は早めに確実に